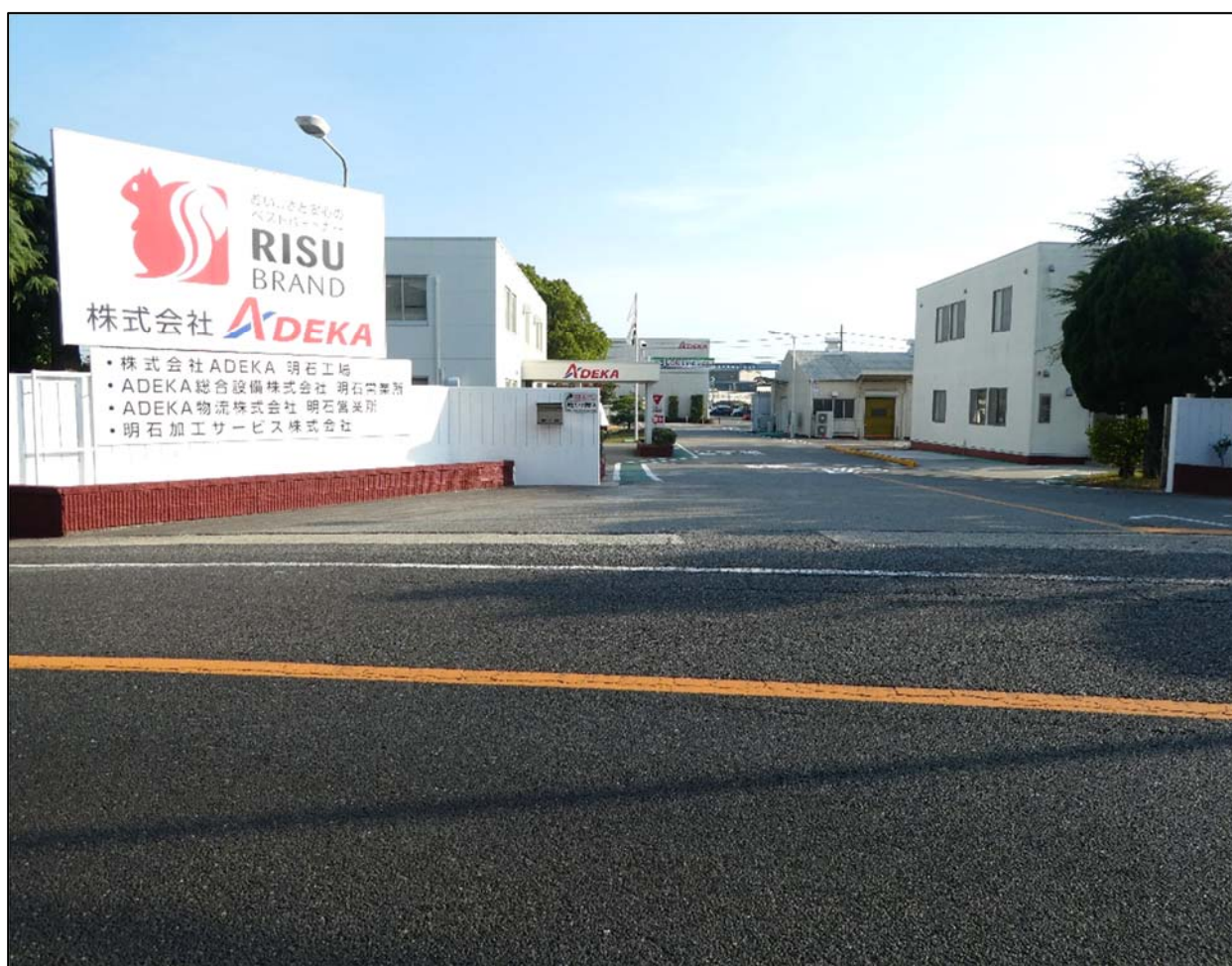


環境・安全レポート 2024

(レスポンシブル・ケア活動報告)



株式会社 **ADEKA** 明石工場

目 次

1. はじめに	1 頁
2. 明石工場方針	1 頁
3. 工場概要	2 頁
4. 環境・労働安全衛生・食品安全マネジメントシステム	3 頁
5. 環境活動	3 頁
(1) 環境パフォーマンス	
(2) 化学物質の排出・移動 (PRTR 法)	
(3) 環境会計	
6. 労働安全衛生活動	5 頁
(1) 安全成績	
(2) 安全活動	
(3) 衛生活動	
(4) 保安防災活動	
7. 食品安全活動	7 頁
8. 地域とのコミュニケーション	8 頁



「工場の推進活動と継続活動」

1. はじめに

明石工場は、1966年（昭和41年）に西日本の食品製造拠点として兵庫県加古郡稲美町に設立され、マーガリン・ショートニングの製造を開始しました。その後、1980年（昭和55年）にパイ用シートマーガリン製品、1984年（昭和59年）には高粘度クリーム製品、1997年（平成9年）には、小入れ目製品への展開を進め、時代のニーズである多品種少量生産に適応した工場へと進化を続けています。

工場運営の基盤として、「4つの安全（※）」を掲げ、労働安全：「労働災害ゼロ」、環境安全：「公害・苦情ゼロ」「産業廃棄物削減」「2050年カーボンニュートラル、2030年：2013年度比温室効果ガス（GHG）排出量46%削減」、品質（食品）安全：「クレームゼロ」、設備安全：「重故障・事故ゼロ」を目標に取り組んでいます。

今後とも全従業員一丸となって、地域社会全体の発展に貢献出来る様に、各活動をさらに推進して参ります。当工場の諸活動を皆様にご理解頂くと共に、ご意見、ご指導を頂ければ幸いです。

（※）注釈

「4つの安全」とは、「労働安全」、「環境安全」、「品質（食品）安全」、「設備安全」のことを指します。

2025年3月

株式会社  明石工場

工場長 岩田 誠一郎

2. 明石工場方針

明石工場方針

明石工場は、業務用マーガリンやショートニング、クリーム類の食品製造工場である。「おいさと安心のベストパートナー」目指して、以下の方針に基いた事業活動により、4つの安全「労働・環境・品質（食品）・設備」を確立致します。

- － 全ての法令、規則及びその他要求事項を遵守すると共に、相互に同意したお客様からの要求事項、定めた基準を遵守します。
- － 各マネジメントシステムを有効に運用し、継続的改善及び適宜見直しを図ります
 - ・ 労働災害撲滅、健康増進、安心して働ける職場環境を実現します
 - ・ 廃棄物削減、省エネルギー、生物多様性により地球環境の保全を推進します
 - ・ フードディフェンスの強化により安全、安心な製品とサービスを提供します
 - ・ 自動化及び高効率化設備の導入によりスマート工場化を推進します
- － 全従業員、お客様及び地域住民の皆様、業界団体を含め内外のコミュニケーションを積極的に図ります。
- － 全従業員へ教育、訓練を実施することで責務（義務）を自覚させ、4つの安全に関する意識・力量の向上を図ります。

本方針は、工場で働く全ての人に周知すると共に、必要とする内外の全ての皆様に公開致します。

株式会社  明石工場

3. 工場概要

当工場は、JR 山陽本線土山駅より東方約 2km に位置しています。工場周辺は宅地化が進んでおり、環境問題等、近隣に対して細心の配慮を行い、地域との共存共栄に努めています。



(1) 工 場 所 在 地：兵庫県加古郡稲美町六分一 1183-15

(2) 設 立 年：1966 年（昭和 41 年）

(3) 敷 地 面 積：41,427 m²（12,600 坪）

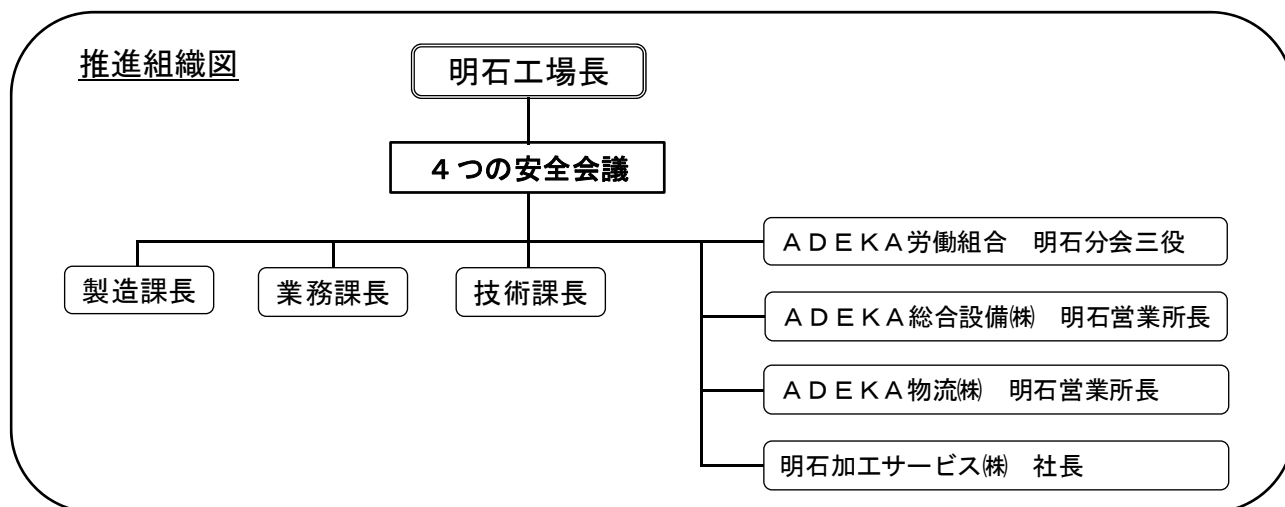
(4) 主 要 製 品：マーガリン、ショートニング、高粘度クリーム、少量包装製品等

(5) 沿 革：

1966 年	明石工場設立
1967 年	マーガリン、ショートニング工場完成
1970 年	ポンドマーガリン生産開始
1979 年	マヨネーズ生産開始
1984 年	高粘度クリーム生産開始
1988 年	ポンドマーガリン・ファットスプレッド生産開始
1990 年	冷凍パイ生地生産開始
1993 年	ストロー状チップマーガリン生産開始
1995 年	TPM（トータルプロダクティブメンテナンス）優秀賞 第 2 類 受賞
1997 年	小入れ目製品生産開始
2000 年	TPM 優秀継続賞 第 2 類 受賞
2001 年	ISO 14001 認証取得
2003 年	OHSAS 18001 認証取得
2004 年	業界 HACCP 承認取得
2006 年	社名変更（旭電化工業(株)⇒(株)A D E K A）明石工場創業 40 周年
2008 年	ISO 22000 認証取得
2015 年	FSSC 22000 認証取得
2016 年	明石工場操業 50 周年
2021 年	ISO45001 認証取得

4. 環境・労働安全衛生・食品安全マネジメントシステム

当工場の環境・労働安全衛生・食品安全推進組織は工場長をトップとして、全部署の代表者で構成する「4つの安全会議」を中心とし、協力会社3社を含め全員参加の活動を行っています。



5. 環境活動

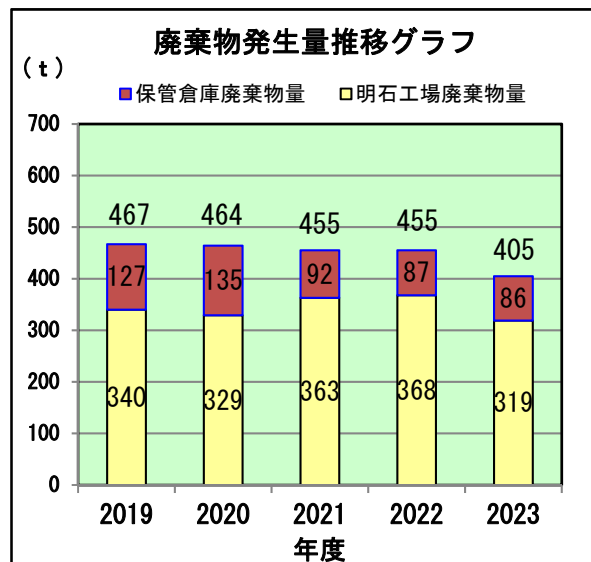
当工場は、「ISO 14001」を取得し、環境影響を持続的に改善する為のシステムを構築し、廃棄物・省エネルギー・GHG 排出原単位対前年比1%削減目標を掲げ、活動を進めています。

(1) 環境パフォーマンス

①産業廃棄物

廃棄物発生量（明石工場廃棄物量）は、対前年度比13.3%減少となりました。今後も工程改善及び排水処理設備の改善により、廃棄物発生量の削減を図っていきます。また、埋立量については、昨年に引き続きゼロを継続しています。

当社食品事業全体の食品リサイクル率向上を目的に保管倉庫（ストックポイント）で発生する食品廃棄物を明石工場で処理する取り組みを2012年度より継続しています。今後も取り組みを継続させ、更なる食品リサイクル率の向上を図ります。



●食品リサイクル法適合処理の紹介●



食品廃棄物



処理

炭化製品化
(燃料)



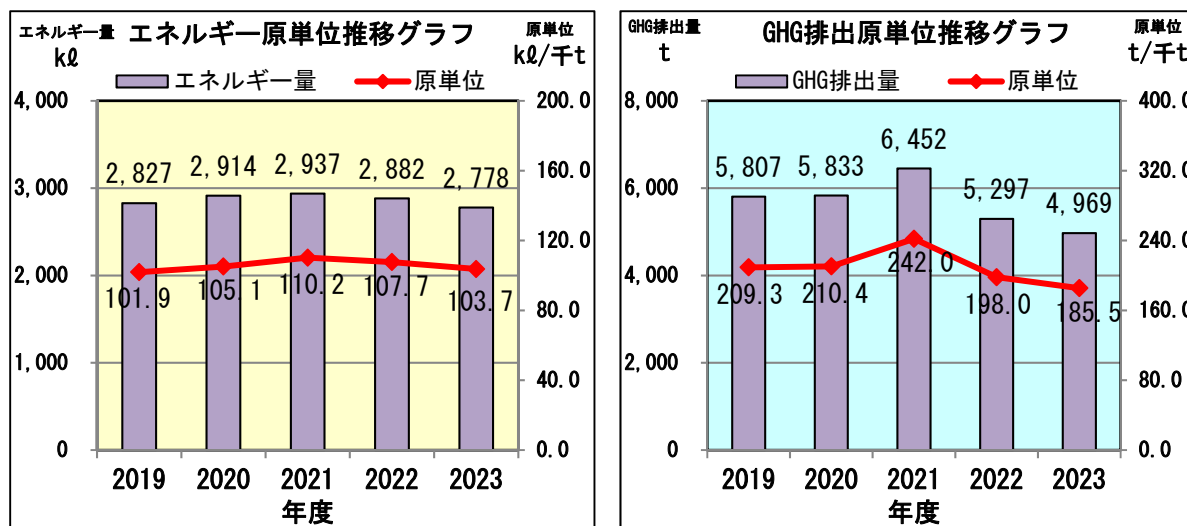
油脂・油脂製品化
(石鹸原料等)



②省エネルギー及び地球温暖化対策

エネルギー原単位は、対前年度比 3.7%改善となりました。要因は一部製品終売に伴う大型冷凍機停止及び高効率空調機への更新、生産効率化等の省エネ効果によるものとなります。GHG 排出原単位については、同 6.3%改善となりました。こちらは上記理由に加え、一部電力会社の再エネ電力メニュー採用及び FIT 非化石証書を自社購入した事により、改善を図る事が出来ました。

2050 年カーボンニュートラル達成に向け、更なる効率化及び省エネ設備導入等による自助努力の積上げを第一に推進し、改善活動を積極的に進めていきます。



③大気汚染

生産ラインの加熱殺菌、保温等に使用する蒸気は小型貫流ボイラー4 基により発生させています。排ガス成分を定期的に測定し、環境規制値内であることを確認しています。

④水質汚濁

生産工程からの廃水は、排水処理設備で一次処理を行った後（規制値以下の水質であることを確認後）、公共下水道に接続放流しています。

（２）化学物質の排出・移動（PRTR 法）

当工場で PRTR 法「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の推進に関する法律」に該当する物質は、排水処理設備で使用している薬剤の塩化第二鉄のみです。なお、当該薬剤は排水処理工程内でその他薬剤と混合して、分離・除去される事から、塩化第二鉄として公共用水域への排出及び下水道への移動はありません。

（３）環境会計

環境設備投資は、高効率空調機への更新、電力可視化設備の導入等により対前年度比増額となりました。また、環境保全効果に伴う経済効果は、廃棄物削減と有価物化推進、省エネルギー活動を推進しました。

（単位：百万円）

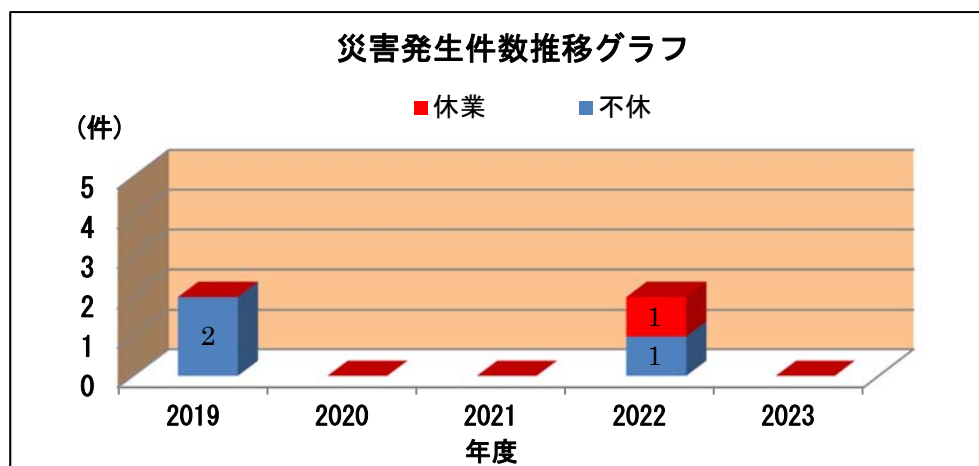
	2022 年度	2023 年度
環境設備投資額	18	52
環境維持コスト	95	60
環境保全効果に伴う経済効果	10	10

6. 労働安全衛生活動

当工場は、「ISO 45001」を取得し、毎年度リスクの抽出と改善を実施しており、全員参加型での教育・点検・パトロールを実施し、災害発生ゼロを目指しています。

(1) 安全成績

災害発生ゼロを目標に掲げ、安全教育や過去・他工場災害の横展開、リスク抽出箇所の早期改善を推進した結果、休業・不休災害ゼロを達成する事が出来ました。



(2) 安全活動

①ゼロ災活動

工場従業員及び協力会社の災害ゼロ達成に向け、各職場で選出されたゼロ災委員が毎月ゼロ災委員会を開催し、他の職場を違った目線でリスク評価し、不安全行動の是正と不安全箇所抽出及び早期改善を図る活動を展開しています。

②小集団活動

全員参加自主管理方式による職場活動です。小集団の利点を活かし「仲間との一体感により、個々人の安全意識の向上」を目的とし、気づきのレベルまで掘り下げ、自分達の職場を働き易い環境に変えていく活動を展開しています。

③安全パトロール

管理者視点（4つの安全会議）での安全パトロールを実施し、不安全箇所撲滅及び作業員への緊張感維持と良好点もフィードバックする事で個々のモチベーションアップを図る活動を展開しています。

④安全大会、講習会

毎年安全大会を開催し、協力会社を含む全従業員の安全意識向上を図ると共に、熟練者による技能教育や外部講師による安全講習会等、安全に関する様々な教育・講習会を実施しています。

⑤危険体感教育

当工場内に危険体感センターを設立しました。同施設では、作業現場に潜む様々な危険を疑似的に体感出来る設備を多数揃え、「いつでも・だれでも・何度でも」を合言葉に従業員一人ひとりの危険に対する感受性を高める教育を展開しています。また、当工場へ入場される工事業者様及び近隣企業先の受入れを積極的に実施し、相互交流を図っています。

指差呼称立哨点検



ゼロ災活動：危険予知訓練



フォークリフト技能講習会



熱中症対策勉強会



危険体感教育



(3) 衛生活動

健康診断の受診及びストレスチェック制度の実施を積極的に進めています。衛生活動としては、従業員の健康増進を目的に各自で希望して受診できるオプション検査の充実、産業医による面談及び健康講話を実施しています。また、従業員同士の交流及び身体のリフレッシュを図るべく、レクリエーション等の取り組みも実施しています。

労使協賛秋のバス旅行



(4) 保安防災活動

環境・安全衛生推進計画に従い、各種訓練、自動火災報知設備点検、消火器点検、特別高圧受電設備点検等を実施しています。具体的には保安力向上を目標に掲げ、大型地震発生に対する総合防災訓練、火災発生に対する初期消火訓練を実施しました。

また、災害時における BCP 対策として、非常用発電機導入によるバックアップ電源の確保及び緊急事態発生時の対応マニュアル、手順書の見直しを進めております。

非常用発電機



消火栓取扱い教育



7. 食品安全活動

当工場は、「FSSC 22000」を取得し、安心・安全な食品を提供するために食品安全と食品防御の両面からリスク管理を行い、システムの確実な運用に努めています。従来の食品安全活動に加え、各取引メーカーへの監査実行、現場作業者を主体とした AIB (American Institute of Baking) 活動の展開を積極的に推進しました。今後も更なる品質管理レベルの向上を図ります。

AIB 自主検査活動



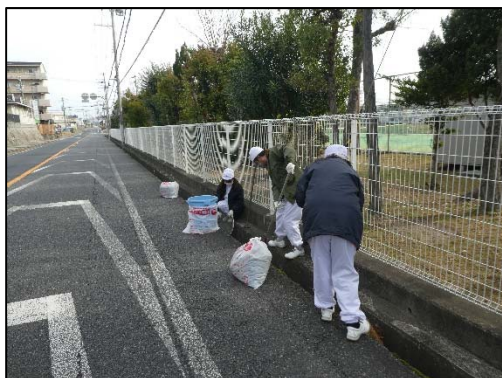
FSSC22000 内部監査員講習会



8. 地域とのコミュニケーション

工場近隣道路の清掃活動を定期的に行い、環境美化を推進しています。また、自治会行事への協賛や近隣施設へのクリスマスケーキ寄贈、近隣企業で構成された協議会に積極的に参加し、地域一体の活動を推進しています。

工場周辺道路の清掃



児童自立支援施設への寄贈



発 行 日 : 2025 年 3 月

発行責任部署 : 株式会社 **ADEKA** 明石工場 業務課

住 所 : 〒675-1112

兵庫県加古郡稲美町六分一 1183-15

TEL : 079-495-2361

FAX : 079-495-2820

ご意見をお聞かせ下さい

私たちは環境・労働安全衛生・食品安全に積極的に取り組んでいます。この環境・安全レポート（レスポンスブル・ケア活動報告）をご高覧いただき、皆様より貴重なご意見、ご感想をいただきまして、今後の参考とさせていただきます。そして、より良い工場運営に反映させ、活動を進めたいと考えています。

株式会社  明石工場
兵庫県加古郡稲美町六分一 1183-15
TEL : 079-495-2361
FAX : 079-495-2820

1. この環境レポートの記載項目はいかがですか？

- a. 物足りない b. 普通 c. 充実している d. その他 ()

2. この環境レポートをご高覧いただき、A D E K A 明石工場のレスポンス・ケア活動をご理解いただけましたか？

- a. 理解できない b. 普通 c. よく理解できた d. その他 ()

3. ご意見、ご感想をお願いいたします。

お名前 年齢 歳 性別 男性・女性

ご連絡先のご住所

電話番号 FAX 番号

ご記入いただいた個人情報は、本アンケートの調査・分析や今後の CSR 活動の参考とする目的に限り利用させていただきます。また、個人情報は適切に管理し、第三者への開示は行いません。